# 「SIRCAD(Ver5)」から「SIRCAD(Ver6)」のバージョンアップで

# 追加された主な機能

株式会社ソフトウェアセンター

## 1. 建物形状

#### ①ダミー階

『Super Build®/SS7』で定義したダミーフロアを取り込むことができます。

#### 2. 部材定義

④鋼材種を登録可能



ー貫計算データをインポートすると、使用されている鋼 材種が上の行にセットされ、「部材定義使用」欄に〇が付き ます。あらかじめ用意された鋼材種に無い鋼材があれば、自 動的に追加されます。

インポートした後に、サフィックスとして、**A、B**等を 追記することができます。

一般的な鋼材種だけ入力し、「システムデフォルト値と して登録」することにより、他の JOB でもその設定で使用 できます。

②カットオフ筋

符号	位	形	状	ハンチ	主筋	上端	<u>本数</u>	下端本数		肋	筋		腹筋	3段筋	核数	加水75筋	
14	置	B	D	Lh	太細	U1 u1	U2 u2	D1 d1 D2 d2	径		本   S	ピッチ	<u>n 径</u>	U3 u3 [	28 98	長さ	
33	E	400	900		25	3		2	D13		2	250	2 10		_	1600	<b>_</b>
	С	400	900		25	2		3	D13		2	250					-
															_		-
1.000		1		123			S. 18	1	-	SU.	1			1			

梁の部材定義で、カットオフ筋の長さを指定できるようになりました。 断面リストにも反映されます。また、鉄筋数量にも反映されます。



## ■帯筋本数

C855	符 문	位	形:	状 主筋径	X主筋本数	Y主筋本数	芯鉄筋径	芯鉄筋本数	芯鉄筋かぶる	J	HOOP		幅止筋
	17 5	置	в	D 太 細	X1 x1 X2 x	2 Y1 y1 Y2 y2	太細	XXYy	dsx dsy	径	XYS	t°77	径 L <sup>®</sup> ッチ
101	1	A	600	600 D22	4	4				D10	99 99	100	
201	1	A	550	550 D22	4	4				D10	22	100	
EZ Sabil I	Ditat A	487		1875 o 1	808A - 55		1400	144.55		100=31	£0	en 1 70	

柱定義で、帯筋は9本までしか入力できませんでしたが、99本まで入力できる ようになりました。

■あばら筋本数

78時	符 문	位	形:	伏	ハンチ	主筋	上端本對	数 下端ス	数	肋筋	10 23	腹筋	3段筋本数	カットオフ育
~PB	14 3	置	В	D	Lh	太細	U1 u1 U2	u2 D1 d1 l	D2 d2 径	本	5 Ľ″ッチ	<u>n 径</u>	U3 u3 D3 d3	長さ
2-3 G	à1	0	350	650		22	4	3	D10	99	150	1 10		
		С	350	650		22	2	3	D10	2	150			
		I	350	650		22	4	2	D10	2	150			
4-6 0	à1	Е	300	600		22	3	2	D10	2	200	1 10		
		С	300	600		22	2	8	D10	2	200			
									1				1	
紛割	階結合	複写1	複写	2	削除	77	オルト	確定	検索	置換 積	確認	E	印刷 保	存

梁定義で、あばら筋は9本までしか入力できませんでしたが、99本まで入力で きるようになりました。

## ■床組に配置できる小梁数を増設

〒14日日本 111 -	The second secon						小梁	82.30									
	- 16	日章	10	0200000			Level	35			DK-	91	UPE	d x	1v	Fol.	2 1 4
w.1	11	F921	71	20-1	H	0.0	-28	-	0	-			0.1	,		-	-
	12																
	1.8	1															
YI	H																
1 1	18	1															
10	12																
100 100	15																
A 10	16	1															
	10																
	52	8															
	13																
	-16																
	19	1															
	13	2															
	13																
	-bi	1															
	31	i															
	22																
	12	1															
	15																
	21	1															
	22																
	17																
	12																
	101	8															
	3																
	12																
	15																
	2																
	12																
	18																
	14																
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	17	10000	1420	10.000	1	1.1	31.5	2.01			100		1532	1.1	19332	1.1	_
AC8 18	12	16.612	- 87	1 215	21	- 44	E   22	57			75	-7	- 742	FT ]	18.0	2	

一つの床組定義で、小梁の配置を **40** 個まで配置できるようになりました。

- 3. 部材配置
  - ■部材端部オフセット



柱、梁、小梁、スラブなど、部材端部のオフセットに( $\delta X$ 、 $\delta Y$ 、 $\delta Z$ )を設けました。これにより、自由な位置に部材を置くことが出来るようになり、任意形状モデルを構成することができるようになりました。

## ■個別大梁・個別壁の自由配置

個別大梁・個別壁がフレーム上でも入力できるようになりました。

■柱・壁・ブレース配置の多層配置



下端レベルおよび上端階・上端レベルが入力できるようになり、多層にまたがる 柱、壁、ブレースを配置入力できるようになりました。



■腰壁・垂壁の水平高さ指定

始端または終端で壁高さを指定し、水平に配置できます。



■立面詳細配置

立面での詳細配置ができるようになりました。



■配置画面で、文字サイズおよび符号の位置指定ができます



# 4. 作図設定

■鉄筋径毎に鉄筋符号を変更できます





# 5. 作図

■S 柱文字リストは、従来 X,Y の行が常にありましたが、1行で表示する設定を付けました

▲ 挿入図 図面 e b 単式 図面 e b 単式 図面 b 単式 図面 b 単式 の面積 に 図面 b 単式 に 一 の面かり し て の の か り の の た し の の の の の の の の の の の の の の の の	面詳細設定[積算モデル-3_1] : 8 : 積算モデル-3_1 : No.301 S社(SDC) : N [1:C1 ] - [4:C10 スブレートを描く *本体イ が1方向のみの階は1行で描く] : 陸以スト : [セリスト : [1] 〇 石 [6] 上 [10 : 6] [10] 石 [6] 上 [10] : 6] [20] 形状欄 [14] : 7 : 6] [20] 形状欄 [14] : 5 : 6] [20] 形状欄 [14] : 7 : 7 : 6] [20] 形状欄 [14] : 7 : 7 : 7 : 7 : 7 : 7 : 7 : 7	✓ Z [1]	- 3 子備欄 字段数 3	× 10 10 3								
	C1			C2			C3			C10		
R階	□- 500x500x16x16	BCR295	□- 4	150x450x12x12	BCR295				□-	300x300x12>	(12	BCR295
2階	□- 500x500x16x16	BCR295	□- 4	150x450x12x12	BCR295	□-	450x450x16x16	SS490		2	2	21
1階	□- 500x500x16x16	BCR295	□- 4	150x450x16x16	BCR295	□-	450x450x16x16	BCR295				

■S 梁文字リストで、階と符号を縦並びで描く設定を付けました

挿入図面詳細設定[積算モデル-3_1]	r#	一 一 村 一	( <b>1</b> )	断面
画番号: 7 5 ちな・  諸宮エデル-9 1		635	全断	H - 350x175x 7x11 SN400
513-21. 1度で770~0_1 面種類: No.302 S梁(SGG)	23	G40 .	全断	H 400x200x 8x13 SN400
) 面設定		G48	全断	H - 488x300x11x18 SN400
力範囲・N 1・B25 - 18・C120A - フ 1 - 4	PH	G50 ·	全断	H'- 500x200x10x16 SN400
階と符号を縦並びで描く	喧坏			
			_	
法設定(実寸)				
字 枠: 予備欄数 3 備考欄数 0		G48	全断	H - 488x300x11x18 \$1400
方 向: 階数欄 20 符号欄 12 形状欄 14 余 白 2 備考欄 10	1	650	全断	H'- 500x200x10x16 \$140
方向: 外州 10 項目欄 10 文字枠 6		680	全断	H - 800x300x14x26 SN40
画設定	-> R	G803	全断	H - 800x300x14x26 SN494
助作図: 🤨 図面オブジェクトとして生成	階床	GI 204.	全断	BH- 1200x350x19x36 SN494
() 文子を分解して生成(寸法値は除く)				
分処理: ▶ → 41℃9 つ	32			8 29 29
OK t+)th				
		B25	全断	H - 250x125x 6x 9 SN40
	28	B29	全断	H 298x 49x5. 5x 8 SN40
		B34	全断	H - 346x174x 6x 9 SN40
	- 65	B35	全断	H'- 350x175x 7x11 SN40
		B39	全断	H - 396x199x 7x11 SN40
	3°	B45	全断	H - 450x200x 9x14 SN40
	24.00	B50 .	全断	H 500x200x10x16 SN40
	2 R\$r==	B59	全断	H - 596x199x10x15 \$140
	PEPT	OG39 :	全断	H'- 390x300x10x16 \$140
		G48	全断	H - 488x300x11x18 SN40
		670	全断	H - 700x300x13x24 SN40
		G70A .	全断	H 700x300x13x24 SN49
			-	
_	32			
7				

- 6. 数量
  - ■フカシ筋

柱梁のフカシ筋を設定し数量を算出できるようになりました。



■鉄骨粱



長さを「芯-芯」または「面-面」で計算できるようになりました。

7. データ変換

7-1. From SS7 To SIRCAD6 (オプション)



以下の機能を追加しました。

最下層に「基礎階」を追加する

・基礎階を自動的に追加し、基礎、基礎スラブのみ、その階に配置します

- ② 一般開口を窓開口として変換する/しないが選択できます
- ③ 梁の一本部材判定で、柱として認識する符号の頭文字をして可能です
   ・間柱を柱としてモデル化して解析した場合に有効です
- 7-2. From CREA To SIRCAD6

最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します (∦ □ 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎ス・	A <mark>RCHICAD連携時</mark> ラブ(FSxx)を配置する	<b>こ有効)</b> 5
階高 1000 (mm)		
※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎下端が最下 「開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う	「層以上の場合に入り	り値を用います

以下の機能を追加しました。

最下層に「基礎階」を追加する

・基礎階を自動的に追加し、基礎、基礎スラブのみ、その階に配置します ② 一般開口を窓開口として変換する/しないが選択できます 7-3. From ST-Bridge To SIRCAD6



以下の機能を追加しました。

- 最下層に「基礎階」を追加する
  - ・基礎階を自動的に追加し、基礎、基礎スラブのみ、その階に配置します
- ② 一般開口を窓開口として変換する/しないが選択できます
- ③ 梁の一本部材判定で、柱として認識する符号の頭文字をして可能です
  - ・間柱を柱としてモデル化して解析した場合に有効です
- ④ ST-Bridge (Ver1.4) および ST-Bridge (Ver2.0.1) を自動判別してインポ ートできます
- 7-4. From SIRCAD Ver6 To SNAP (オプション)

-入/JJUB JOB名 タイトル	4階S造   4階建の事	務所建築(	S造)					参照
出力ファイ 出力バー 出力ファ・ 出力フォ、 スリット幅 .	ル ジョン © Ve イル名  4階S ルダ名  F¥1募 上下   100.0 左右   100.0	r.7 造s7i 美務別資料 mm mm	¥E.アプリク	・ーション関連	¥SIRCAD(V	er 6)¥検証デー	∕2¥SNAP7_DATA	
	▼ 柱 ※ 指定は配置 ※ 雑壁は、上	マ 梁 ののみで、 ど の 間に 床 た	✓ 壁 所面定義は全 が無いと配置	✓ 小梁 て変換します できず、表示が できず、表示が	<ul> <li>戸床</li> <li>)</li> <li>が乱れます</li> </ul>	匚 雑壁	☞ ダミー小梁(B888,B999)	実行

SNAP(構造システム)の最新のテキスト形式(S7i)に対応しました 変換する部材を選択可能にしました

# 7-5. From SIRCAD Ver6 To ST-Bridge

入力JOB JOB名: 4階S造 タイトル: 4階建の事務所建築(	8遺)	参照
出力ファイル 出力ファイル名: 4階S造_STBs	tb	
出力フォルダ名: C:¥Users¥K.At	e¥Desktop¥	参照
変換オブション設定 ■ 変換するST-Bridgeバージョン ■ 変換する部材指定	<ul> <li>1.4 ▼</li> <li>マ RC部材 マ S部材 (SRC部材は、指定した部材のみ変換されます)</li> </ul>	
<ul> <li>配置データのオフセット指定</li> <li>部材配置のオフセットは、<sup>3</sup></li> <li>スラブの延伸指定</li> <li>スラブの外形線を接する梁</li> </ul>	平行移動の場合でも、X、Y、Z方向全てのオフセットを出力する の中心に延伸移動させる	実行

出力する **ST-Bridge** バージョンを(**Ver1.4**) または(**Ver2.0.1**) のどちらかを 選択できます 8. その他

■部材表示色設定の保存

■ 6 色の設定	
	E
<ul> <li>B ← RC/梁</li> <li>B ← RC壁</li> <li>C Z ラブ</li> <li>B ← S 注</li> <li>B ← S ☆</li> <li>B ← S 小梁</li> <li>B ← S → Z → Z → Z → Z → Z → Z → Z → Z → Z →</li></ul>	-
すべての色を初期値に戻す ワーク名変更 名前を付けた色設定から読み込み 名前を付けて色設定を保存	h

部材表示色設定をファイル保存できるようになりました

- ・名前を付けて色設定を保存
- ・名前を付けた色設定から読み込み

■DRA-CAD 出力での線種ピッチ設定

¥	参照	変換(出)     変換(出)
文字調整	全角 半角	終了(Q)
文字高さ倍率 文字縦横比(幅/高さ) 「	1.1 1.1 0.9 2.0	作図ファイル指定
文字間隔倍率	0.9 0.9 10.9 10.9	出力レイヤー指定
フォント T DRACADフォントと	って出力	
寸法線 マ 寸法値:小数点以下(	のを表示しない	]
線種ビッチ 破線 1.00 2.00	2.00 2.00 1.00 补加期化	I
点線 0.40 0.80	0.40	
一点鎖線 5.00 0.80	0.40 0.80 5.00	
一占領領		

線種ごとにピッチを指定して出力できるようになりました。